

# 安楽寺だより第35号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話: 03-3451-1509 FAX: 03-3798-2238

発行者: 藤澤 克己(安楽寺住職) ホームページ: <http://www.anraku-ji.org/>

(安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します)

## 地震と豪雨のお見舞いを申し上げます

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

今年はいち早く梅雨が明け、早くも暑い夏が到来しています。

去る6月18日には大阪北部地震が起き、今月に入ってから西日本を中心に全国各地で「これまでに経験したことのないような大雨」が降り続き、大変な被害が出ているようです。被災された方に心からお見舞い申し上げます。



(参道に咲く雨あがりのアジサイ・6月)

地震や豪雨は自然現象ですから、残念ながら避けられません。私たちにできることは、いつ起きてもおかしくないという現実から目を逸らさず、災害にならないよう、あるいは災害を最小限にするよう準備することでしょう。

これは私たちの人生にも当てはまります。私の身に降りかかる老・病・死は避けることのできない現実ですが、心の準備をすることはできます。

仏教はまさにそこに向き合う教えです。

### 盂蘭盆会法要について

日時: **7月15日(日)**午後1時~

盂蘭盆(うらぼん)とは「お盆」のことです。新盆(初めて迎えるお盆)のお宅を中心にして、7月13日~16日には住職がお盆参りに伺わせていただきます。ただし7月15日は午後1時から本堂で合同のお勤めがあります。ぜひ本堂にて一緒にお手を合わせください。

### 《あれこれ抄》

▼夏の「安楽寺だより」をお届けします。▼おかげさまで、以前より懸案となっていた客殿一階の空調設備を更新できました▽二十年以上が経過し、いつ故障してもおかしくない状況が続いていましたので、これですっきりと安心して夏を迎えられます。▼オウム真理教の教祖・幹部らの死刑が執行されました▽司法判断の是非は言えませんが、いのちを断罪しなければならなかった原因と結果を悲しく受け止めています。▼サッカーワールドカップの日本代表の奮起に感動しました▽大会直前の監督交代がかえってメンバーの結束力を高めたのでしょうか、いつも以上に頼もしさを感じました。▼暑い夏を迎えますので、くれぐれもお身体をお大事にお過ごしください。

# 永代経法要をお勤めしました



去る5月10日に「永代経法要」をお勤めしました。

今年も芝組の僧侶7人に内陣出仕していただき賑々しく法要を勤めることができました。永代に亘り阿弥陀さまのみ教えが受け継がれることを願い、先立たれた方々のご恩を偲びました。

法要に引き続いて、増田廣樹師（清心寺副住職）のお話を聴聞しました。

「本願力にあひぬれば 空しく過ぐる人ぞなき」（高僧和讃）というご讃題をもとに阿弥陀さまの願いに出遇わせて頂く人生のありがたさをお聞かせいただきました。

ご講師のお人柄のにじむ話しぶりに心が動かされ、尊いご縁となりました。



参道脇には彩り豊かなアジサイが咲きました（5月）

## 《季節の思い出》



スズムシの小さな命が誕生しました（6月）



メダカの稚魚も少しずつ大きくなりました（7月）

### 【知っていただきたいお経の言葉】

し し ん しんぎょう  
**至心信楽**

【 ころを尽くして 信じ願う  
『仏説無量寿経』 】

仏さま（阿弥陀さま）の切なる願い＝ご本願（根本の誓願）のお言葉です。「ころを尽くして信じ願う者を必ず仏にならせよう」と誓われたのが阿弥陀さまでした。

実は、私たち凡夫が「ころを尽くす」こと（**至心**）も「信じ願う」こと（**信楽**）も難しいと見抜かれた仏さまが**至心**も**信楽**も私たちに与えてくださっていた、と明らかにされたのが親鸞聖人です。「如来回向の信楽」（『愚禿鈔』）などと示され、如来（仏さま）から**至心・信楽**を振り向けられ（回向され）たのがお念仏を称える姿と言われるのです。

# ご存知ですか? お念仏 (南無阿弥陀仏) の意味?

声に出す「ナモアマダブツ」のお念仏はお経に「南無阿弥陀仏」とあります。これは「南無」という文字と「阿弥陀仏」という文字から構成されています。

**ナモアマダブツ** = **南無** + **阿弥陀仏**

さて、その意味は?と尋ねられると、ご存知ない方が多いのではないのでしょうか。

実は「南無」という漢字には意味がないのです。お釈迦さまは今から約2500年前のインドに実在したお方で、仏教はもともとインドで成立しました。サンスクリット語という当時の言葉「ナモ」を音写した漢訳仏教語が「南無」なのです。現代の日本語ならばカタカナ表記すべき言葉でしょう。「ナモ」の意味は「帰依します」「あなたのことをお敬いいたします」となります。

同様に「阿弥陀仏」もサンスクリット語の「アミターユス」または「アミターバ」を音写した漢訳仏教語です。アミターバは「量しれない光を持つ者」、アミターユスは「量しれない寿命を持つ者」の意味で、これを意識すると無量光仏・無量寿仏となりますが、阿弥陀という漢字そのものには意味がないのです。

つまり「ナモアマダブツ」のお念仏は、「はかり知れない寿命と光を持つ仏さま(阿弥陀さま)のことをお敬いいたします」という意味なのですね。

この「ナモアマダブツ」のお念仏、実は、阿弥陀さまご自身が私たちのために用意してくださったものなのです。その話は、いずれまた。



## 【ご報告】芝組で公開講座を開催しました

前号でご紹介した芝組主催の公開講座「ちょっと気になる お墓のこれから」が去る6月9日に開催されました。これまでお寺に縁の無かった方々を中心に約50人が集まり、熱心に耳を傾け、活発な質疑応答もありました。



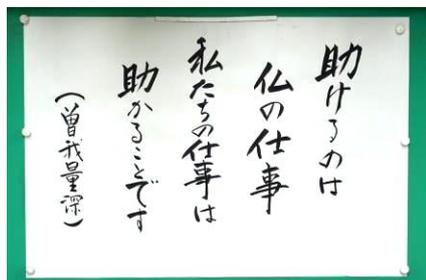
### 12月に芝組研修会 (予告)

今年12月頃に芝組合同研修会の開催を計画しています。各寺の門信徒の皆さまにお声掛けをして、いわゆる「終活」についてともに学べればと考えています。テーマは仮ですが「住職と一緒に考える私のエンディングノート」です。

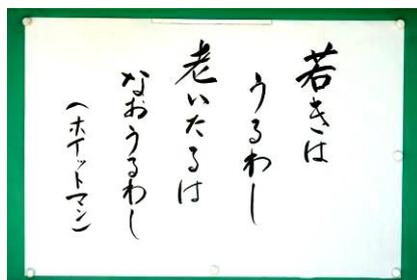


## 月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

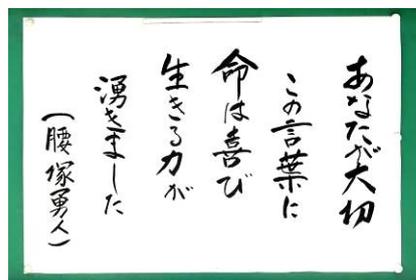
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。(1か月毎)



2018年5月



2018年6月



2018年7月

### 築地本願寺の

## 納涼盆踊り大会



(昨年の盆踊り大会の様子・築地本願寺境内)

築地本願寺では、毎年恒例の納涼盆踊り大会が8月初めに開催されます。境内に設けられたやぐらを囲み「築地音頭」などにあわせて盆踊りが行われます。

「**日本一おいしい盆踊り**」をテーマに、築地場外市場や近隣飲食店による屋台が軒を連ねますので、築地界隈の美味しいものを食べながら盆踊りを楽しめます。

**日程：8月1日(水)～8月4日(土)**

**時間：19時～21時**

**(最終日は18時～20時30分)**

よろしければ是非お出かけください。

## スズムシの集いを開催します

今年も「**スズムシの集い**」を開催します。おもに小学生以下のお子さんが対象です。

**日時：2018年8月19日(日)**

**午後4時30分～**

**場所：安楽寺(ロビー<sup>ごはい</sup>および向拝)**

**定員：20組程度までの親子**

夕方から開催なのは、スズムシが日中はほとんど鳴いてくれないからです。参加を希望する方は寺までご連絡ください。また、この日に限らず、飼育ケースをもってくだされば、いつでもお分けいたします。飼育の仕方も伝授いたします。



(昨年のスズムシの集いの様子・安楽寺)

## 「定例法話会」の今後の予定(毎月**第3日曜日** 午後2時～)

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

(7月はお休みです) **8月19日(日)** **9月16日(日)**